



学校・家庭・地域で育て合うための学校だより

# ひわきっ子

「花とあいさつじまんの学校」

令和4年8月19日 8月号

〒895-1202

薩摩川内市樋脇町塔之原 3624

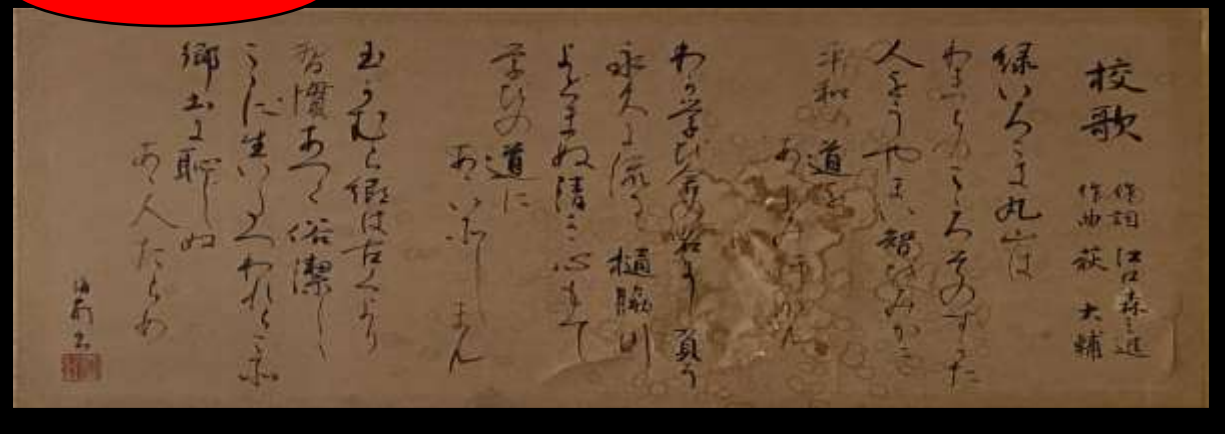
TEL 0996-37-2038

薩摩川内市立樋脇小学校

校長室の書に学ぶ！

校長 谷山 弘毅

## 校歌に学ぶ



校歌というのは、その学校の創設時に、学校の教育目標と同じような意味で作られているものです。こんな子どもたちに育てて欲しいという、創立時の保護者や地域の方々、先生たちの思いが込められています。ですから、どの学校でも校歌は大切にされていて、各教室に必ず掲示してあります。上の写真は校長室に飾ってある校歌です。最後に、海南書と書いてあるように見えます。色あせている様子から、結構な昔、「海南」という方が書いたものと思われます。【校歌から見える子どもたちへの思い】

一 緑色こき 丸山は  
われらのこころ そのすがた  
人をうやまい 智をみがき  
平和の道を ああふみ行かん

いつも人を敬う心をもってると、いつかは自分も大切にされます。そしていつでも平和な道を進むことができます。樋脇の子どもたちにもいつも敬う心をもってほしい。

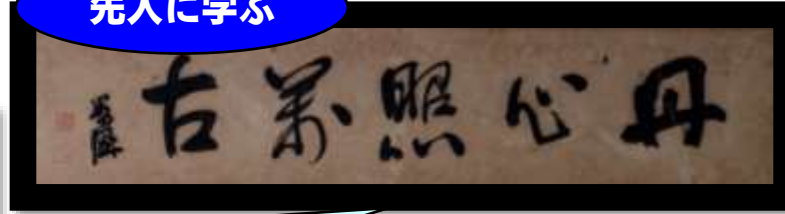
二 わが学び舎の 名にし負う  
永久に流るる 樋脇川  
よどまぬ清き 心もて  
学びの道に ああいそしまん

大人だろうと子どもだろうと学ぶ心をもつこと 夢をもつこと 理想をもつことで生き生きと生きることができます。樋脇の子どもたちに学びの心をもっていきしてほしい。

三 我がむら里は 古くより  
慣わしあつく 俗潔し  
ここに生い立つ われらこそ  
郷土に恥じぬ ああ人たため

樋脇は北薩摩の中心に位置します。ここが私たちの故郷です。つらいこと、苦しいことがあったら、上を見上げて、くじけないで負けないで、故郷に恥じない人になってほしい。

## 先人に学ぶ



教育学者：小原國芳の書「たんしん ばんこを てらす」  
“真心から出た行いは、永遠に光り輝く”という意味



書家：伊藤明瑞の書「かんよう とくせい」  
“水がゆっくりとしみこむように、じっくりと道徳心を養う”という意味



“書家 溪山？の書「きくけいを とぼす」  
「樋脇小の子どもたちの頭張りが、一面に放つておられる様子」  
うに」という思いがあるようです。

こうしてみると、校長室の書は全てが校歌とつながっているように感じます。郷土の先人の子どもたちに向けた思いをしっかりと伝え、本校の教育に生かしていかなければと感じたところでした。もうすぐ二学期が始まります。二学期も保護者の皆様、地域の皆様の御協力を得ながら「知・徳・体」調和のとれた子どもたちを育ててまいりたいと思います。御理解と御協力をお願いいたします。

## 10月の主な行事予定

- 9月 1日(木) 2学期始業式(給食あり)
- 9月 6日(火) 第2回PTA運営委員会
- 9月14日(水) 家庭教育学級
- 9月17日(土) 授業参観、学級PTA
- 9月19日(月) 移動図書
- 9月23日(金) PTA愛校作業(研修部、学級部)
- 9月29日(木) 予備日9月25日(日)
- 敬老の日
- 秋分の日
- 運動会準備

## 10月の主な行事予定

- 10月 2日(日) 運動会
- 10月 8日(土) 薩摩川内元気塾
- 10月 11日(火) 身体計測・視力検査(4・5・6年)
- 10月 12日(水) 身体検査・視力検査(1・2・3年)
- 10月 27日(木) 市陸上記録会
- 10月 28日(金) 秋の一日遠足

コロナウイルス感染症の終息が見えない状況です。今後も外出時の手指の消毒等の感染予防対策をよろしくお願ひします。また、感染症に罹患した場合は学校へも連絡をお願いします。

